

表紙エッセイ

## 女言葉という嘘

清水義範（作家）

特集1 日本語能力試験の今後 .....	3
~変わる事、変わらないこと~	
国際交流基金関西国際センター試験課	
日本語・日本語教育を研究する .....	6
<b>第18回 ポライトネス理論と対人コミュニケーション研究</b>	
宇佐美まゆみ（東京外国語大学外国語学部助教授）	
特集2 日本語教師会・学会国際シンポジウム .....	8
<b>『国境を越える日本語教育 - 地球規模でのネットワーク作りをめざして - 』</b>	
国際交流基金日本語国際センター情報交流課	
新聞・雑誌から見る現代日本 <b>中・上級</b> （本コーナーは著作権の関係でホームページへの掲載ができません。） .....	11
<b>第10回 「ごみを出さない社会作り」</b>	
写真で見る日本人の生活 <b>初・中級</b> .....	14
<b>「米」</b>	
授業のヒント <b>初・中級</b> .....	16
<b>学習者の発話にフィードバックする</b>	
本ばこ（新刊教材・図書紹介） .....	18
授業に役立つホームページ .....	21
<b>第1回 日本語で書いてみよう</b>	
文法をやさしく .....	22
<b>第1回 受身（1）</b>	
ニュース・編集部から .....	24

は、読者が教えている生徒のレベルを示します。

## 読者から

拝啓

はじめまして。初めてお便りさせていただきます。

いつも『日本語教育通信』を読ませて頂き、ありがとうございます。

米国オレゴン州で製作している長距離学習の紹介をさせていただきたくて、今回お便りを差し上げました。The Moshi Moshi Project は、小学生のための日本語教育を、1996年に補助金を受けて始め、数年後からは、同州のポートランド学区の予算で運営されるようになりました。各小学校の子どもたちは、年間を通して毎週月曜日から木曜日まで、15分から20分のプログラムを、ケーブルテレビで学習します。学習レベルも学年によって3レベルに分かれ、小学校k-5を通して1つの外国語を学ぶことができます。今年は、小学校を終えた子ども達のために、中学生用のパイロットプログラムも始まりました。

テレビで教えるのは、オレゴン州の教員免許を持っている日本語を母国語とする先生とアシスタントの先生4人です。オレゴンのベンチマークに沿って、先生がカリキュラムを作成し、アシスタントの先生と大道具や小道具の準備まで全て行います。

歌（もちろん先生の作詞・作曲）踊り、ラップ、TPRなど、さまざまなアプローチが使われ、子ども達は楽しそうに日本語を学んでいます。プログラムがテレビからの一方通行にならないように、担任の先生（日本語を話しません）を対象に、月一回のペースで、プログラムと同一のレ

ッスを事前に行い、教室側もプログラムにより参加できるように指導しています。プログラムを見た後に各教室でできるアクティビティーなども勉強会で紹介したり、地域の大学から日本語を話すボランティアが各教室に参加することによってより効果をあげています。

1年に3回テレビを通して、子ども達が選択式でできるアセスメントを、年度末にはオールアセスメントを実施して、子ども達の到達度を計るとともに、プログラム側のカリキュラムや進度などの見なおしも同時に行います。

初めはトライアルで始まった「もしもし」も、今では学区外のハワイの小学校や沖縄の米軍基地の中の小学校でも使われるようになりました。もしもしキッズが増えていくのを感じるの、スタッフ一同の喜びです。

プログラムについてのご質問等は、mokuhara@pps.k12.or.usまで。ホームページもありますので、是非ご覧ください。www.moshihola.orgです。たのしいアクティビティーもあります。

敬具

もしもしプロジェクトスタッフ一同

### 表紙エッセイストプロフィール

清水義範（しみずよしのり）

大学在学中から沖慶介のペンネームでSF作品の執筆活動始める。81年から執筆に専念。著書は、第9回吉川英治文学新人賞（88年）受賞作「国語入試問題必勝法」他、「魔界の剣闘士」や、「蕎麦ときしめん」「永遠のジャック&ベティ」等SF、パスティッシュを中心に多数。